

パターン 5

3次医療機関名	NICU	産科
市立札幌病院	×	×
北海道大学病院	○	×
札幌医科大学 附属病院	○	×
天使病院	×	×
北海道社会保険 病院	×	×
北海道立子ども 総合医療・療育 センター	×	—

NICUは確保できるが、産科が満床の場合

ルール 9

■NICUは確保できるが、産科が満床の場合は、ルール8を適用し、前日までに「**第一優先病院**」となった回数が**少ない方**の病院を「**第一優先病院**」、**多い方**の病院を「**第二優先病院**」とし、**やりくりによる産科の対応**を依頼する。

2 いわゆる「未受診妊婦」の 飛込み分娩への対応について

ルール化にあたり勘案すべき事項 1

【受入医療機関側の条件】

- 緊急手術への対応(麻酔科当直医、手術室の体制)
- ハイリスク新生児への対応(NICUの体制)
- ハイリスク妊婦への対応(産婦人科、ICUの体制)

【未受診の妊婦側の条件】

- 妊娠週(月)数(最終月経の月が把握できた場合)
- 痙攣・意識障害の有無(救急車収容時の状況)
- 合併症の対応(救急隊が把握できた場合)

【振り分けの基本原則】

- 妊娠週(月)数に応じて、2次と3次に振り分ける
- 特定の医療機関へ負担が集中しないよう配慮する

未受診妊婦受入のルール

	(平日17:00~9:00) 救急時間帯(土曜13:00~9:00) (日祝 9:00~9:00)				日中時間帯(平日9:00~17:00) (土曜9:00~13:00)			
	手術室	麻酔科	NICU	産科	手術室	麻酔科	NICU	産科
市立札幌	○	○	○	○	○	○	○	○
北大	○	○	○	○	○	○	○	○
医大	○	○	○	○	○	○	○	○
天使	×	×	○	○	○	○	○	○
道社保	×	×	○	○	○	○	○	○
コドモックル	○	○	○	×	○	○	○	○
二次病院	○	○	×	○	○	○	×	○
二次病院	○	○	×	○	○	○	×	○
二次病院	○	○	×	○	○	○	×	○

注1: 救急時間帯は、3次は先受入指定の日、2次は当番日等、受入体制のある日

注2: 最終月経から10ヶ月未満の場合は3次へ(橙)、10ヶ月以上の場合は2次へ(青)

第4回産婦人科医療体制の連携強化 に関する調整会議

日時：平成20年11月19日(水) 18:30～

会場：WEST19 2階 大会議室

ルールの変更点・再確認事項(1)

① 深夜の空床ベッドの確認 →

- ・ 深夜は、要確認の要請があった病院のみ確認する。
(条件の変更があった場合は、病院側からオペレーターへ連絡)

② 空床ベッドの確認 →

- ・ 最初の状況確認は機械的に行う

③ 第一優先病院が決まらない場合の対応 →

- ・ いずれの病院のNICUも「×」となった場合には、
「×」の具体的な状況把握を兼ねて再確認を行い、
「×」が確定した場合は、札幌市外の病院に受入可否を打診

ルールの変更点・再確認事項(2)

- ④ 第二優先病院が決まらない場合の対応について →
- ・ 第一優先病院に患者が搬送された結果、「×」となった時点で他の病院のNICUの状況を再確認する(深夜であっても)
 - ・ すべて受入困難となった場合、苫小牧市立病院に受入れの可否を確認する。
- ⑤ NICUは○又は△であるが、産科病床が確保されない場合の対応について → (再確認)
- ・ 10月29日(水)の事例:
NICUは「札幌医大」のみ「△」で他は全て「×」となり、「札幌医大」の産科病床の方は「×」であったが、ルールに従い札幌医大を第1優先病院として選定した(ただし、実際には患者搬送は発生しなかった)

事例 1

3次医療機関名	NICU	産科
市立札幌病院	×	○
北海道大学病院	×	○
札幌医科大学 附属病院	△	×
天使病院	×	○
北海道社会保険 病院	×	×
北海道立子ども 総合医療・療育 センター	×	—

NICUは確保されているが産科病床が満床の場合の対応

10月29日(水)

- 「札幌医大」のみNICUが△、産科病床は×であったが、ルールにより、「札幌医大」に第1優先病院として対応していただいた。
- ただし、22、24、25週の妊婦に対応中であったためから、32週以降の場合に限り受入れるという条件付となった。
- 32週未満に対応しなければならない可能性があるため、「苫小牧市立病院」に連絡し、受入について相談した結果、現状であれば可能という回答をいただいた。

札幌市内にNICUが確保できなかった場合の 対応について

■ 11月7日(金)すべての3次病院のNICUが確保できない 事態が発生

- ・ ルールに従い、再度確認したが、全ての3次病院において受入不可となった
- ・ 拠点病院に照会した結果、1床であれば対応する旨の回答をいただいた
- ・ ただし、妊娠週数が少ない妊婦の場合には、対応できない可能性があるため、受入可否について「苫小牧市立病院」に相談した結果、現状であれば可能という回答を得た

事例 2

3次医療機関名	NICU	産科
市立札幌病院	×	○
北海道大学病院	×	○
札幌医科大学 附属病院	×	×
天使病院	×	×
北海道社会保険 病院	×	×
北海道立子ども 総合医療・療育 センター	×	—

「NICU」が全て×の場合の対応

11月7日(金)

- ルールにより、再度、確認したが全ての三次病院において対応不可となる
- 拠点病院に照会した結果、1床であれば対応する旨の回答をいただいた
- 週数が少ない妊婦の場合対応できない可能性があるため、「苫小牧市立病院」に受入について相談した結果、現状であれば受入可能という回答をいただいた